



図書館だより

NO.4

丸亀市立綾歌中学校 平成29年 9月号



長かった夏休みも終わり、二期が始まりました。立秋を迎え、朝晩は過ごしやすくなりましたね。夏休みは暑くてあまり本が読めなかった人も、これからの季節はじっくりと本を読んでみましょう。図書館には夏休みの間にたくさんの本が入りましたよ。二期も大勢の人が図書館を訪れてくれることを願っています。

今月の風物詩 野分

野分（のわき）は、暦の「二百十日」前後に吹く暴風で、現在でいう“台風”のことです。

『源氏物語』第二十八帖の巻名になっていたり、『枕草子』では“野分”の翌朝の光景が書かれています。平安貴族にとっては“野分”は趣深いものだったようです。



防災の日

防災の日は、関東大震災（1923年9月1日）の惨事を教訓とし、防災意識を高めるために制定されました。

地震だけでなく台風や津波、大雨などの災害はいつ起きるかわかりません。避難経路の確認や防災用品の準備など日ごろから備えておきましょう。

図書館でも災害に関する本を集めてコーナーを設けています。ぜひ手に取ってみてください。



第157回芥川賞・直木賞受賞作品決定！

7月19日に第157回芥川賞・直木賞が発表されました。日本で最もポピュラーな文学賞で、2年前に又吉直樹さんが『火花』で受賞し話題になりました。

芥川賞と直木賞は、1935年（昭和10年）、菊池寛が創設した文学賞で、芥川賞は純文学作品に、直木賞は大衆文学作品に与えられます。

《芥川賞》 沼田真佑 『影裏』



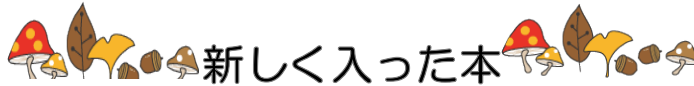
芥川賞受賞

東京から岩手支社に転勤になった秋一は、同僚の日浅と仲良くなるが、彼は突然退社してしまう。その後起こった東日本大震災をきっかけに、その友人の知られざる一面が明らかになってくる。



《直木賞》 佐藤正午 『月の満ち欠け』



15年前に妻子を交通事故で亡くした小山内堅の前に少女が現れる。目の前のこの娘は、今は亡き我が子なのか？月の満ち欠けのように死んでは生まれ変わる、輪廻転生が描かれている。



おれのミュージズ!	にしがきようこ	似顔絵が得意な食いしんぼの少年・樹と、絵を見ることが好きな無口な少女・美海。全く違う2人だけれど、お互いにぶつかることで自分が見えてくる物語。
また、桜の国で	須賀しのぶ	ワルシャワの在ポーランド日本大使館に着任した外務書記生の慎。ロシア人の父を持つ彼は戦争回避に向け奔走するが、遂にドイツがポーランドに侵攻する。
失われた地図	恩田陸	日本各地の旧軍都に発生する「裂け目」。かつてそこに生きた人々の記憶が形を成し、現代に蘇える。
かがみの孤城	辻村深月	学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始める。鏡を抜けると城のような不思議な建物の中へ通じていて、そこにはところと似た境遇の7人が集められていた。
アポリアーあしたの風	いとうみく	東日本から20年ほど経ったある日、東京を大地震が襲い、沿岸部は津波にのみこまれる。倒壊した自宅から母親を助けだすことができなかった中学生の一弥は、自分を責め続ける。
命と向き合う教室	制野俊弘	震災を体験した東松島市の中学生が、毎月1回作文で自分の思いを発表し、言葉をかけ合う。「命とは何か」を問う、先生と生徒の取り組みをつづったノンフィクション。NHKスペシャルで放映され、大きな反響をよんだ。
清掃はやさしさ	新津春子	世界一清潔な羽田空港を支える清掃指導者として活躍する新津さん。中国残留日本人孤児二世として生まれた彼女が苦難を乗り越え、日本一の清掃職人になるまでを描いた、感動のノンフィクション。
夢はみるものでなく、かなえるもの	澤穂希	プロになりたい、日本代表になりたい、オリンピックでメダルをとりたい、ワールドカップで世界一になりたい……。どんなに苦しくてもあきらめず、夢をかなえた澤さんの熱い闘いの日々をまとめた一冊。
語り継ぐハンセン病	山陽新聞社	非人道的な日本のハンセン病患者の隔離政策は、なぜ90年近くも続いたのか。隔離の歴史を当事者たちの貴重な証言でひもといていく。『山陽新聞』連載を単行本化。
自閉症の僕が跳びはねる理由	東田直樹	人との会話が困難で気持ちを伝えることができない自閉症者の心の声を記した書。障害を個性に変えて生きる純粋でひたむきな言葉は、人々に希望と感動をもたらした。
あるがままに自閉症です	//	自分の感性に耳をすませ、言葉を綴ることで自閉の世界の豊かさを伝える、感動エッセイ! 18歳で始めたブログをもとに自らの経験や心情の変化を記した書。
若様とロマン	畠中恵	数年以内に”戦争”が始まるかもしれない……。明治の世の中に不穏な空気が漂い始めていた。戦いへと突き進む一派を抑えようと小泉琢磨はある作戦を考える。

アンと青春	坂木司	和菓子屋「みつ屋」で働き始めた梅本杏子、通称アンちゃん。ある日アンちゃんの手元に謎めいた和菓子が残された……。『和菓子のアン』の待望の続編。
ファンタスティック・ピーストと魔法使いの旅	J・K・ローリング	魔法動物学者のニュート・スキヤマンダーは、貴重な魔法生物を探す地球一周の旅を終えたばかり。ニューヨークでカバンを取りちがえられ、幻の動物が街に逃げ出してしまう。
ハリネズミの願い 	トーン・テレハン	自分のハリが大嫌いで、付き合いの苦手なハリネズミが誰かを招待しようと思いつく。さっそく招待状を書き始めるが手紙を送る勇気が出ない。臆病なハリネズミに友だちはできるのか？本屋大賞翻訳小説部門。
四月になれば彼女は	川村元気	ある事件をきっかけに別れてしまった彼女から手紙が届いた。彼女はなぜ今になって手紙を書いてきたのか？失った恋に翻弄される12か月が始まる。
銀翼のイカロス	池井戸潤	半沢直樹シリーズ第4弾。頭取命令で経営再建中の帝国航空を任された半沢は、500億円もの債権放棄を求める政府組織と激突する。シリーズ史上最大の倍返し！
屋上のウインドノーツ 	額賀滢	友達がひとりもない県立高校へ入学した、引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ、吹奏楽部に入部する。爽やかな風を感じる熱血部活小説。
ソフィーの世界	ヨースタイン・ゴルデル	ごく普通の14歳の女の子ソフィーのもとへ「あなたはだれ？」と書かれた手紙が舞い込んだ。改めて自分をみつめ直すソフィーの周りで、奇妙なことが次々と起こり始める。
もしも月が2つあったなら	ニール・F・カミンズ	「もしも～だったら」という仮定にもとづく科学的なシミュレーションによって、太陽系外の惑星を舞台にした思考実験を展開する。
もしも月がなかったら		
家康、江戸を建てる	門井慶喜	豊臣秀吉が徳川家康に要求した国替えの真意は、低湿地の土地と豊饒な所領の交換であった。家臣団が激怒する中、なぜか家康は要求を受け入れる。
ぐるぐる=博物館	三浦しをん	国立科学博物館、雲仙岳災害記念館、めがねミュージアム…。人類史の最前線から、秘宝館まで、個性あふれる博物館を探検するルポエッセイを収録。
戦国時代のハローワーク	ライヴ	勇ましい武将たちばかりが目目されがちな戦国時代だが、民衆はどのように生きていたのか。当時の人々の代表的な職業を、イメージが湧きやすいイラストで紹介。
ざんねんないきもの事典	今泉忠明	進化の結果、なぜかちょっと残念な感じになってしまった生き物たちを、楽しいイラストとともに紹介する。
続・ざんねんないきもの事典		
13歳の進路	村上龍	中学校卒業後のさまざまな「進路」をわかりやすく図にまとめ、進むべき未来への道を自ら「選びとる」ためのヒントを示す。
マンガ歴史人物に学ぶ大人になるまでに身につけたい大切な心 1～4	太田寿	歴史人物のエピソードマンガで、身につけたい大切な心が学べるシリーズ。各話ごとに人物紹介や写真等の資料、メッセージを掲載。

生命の始まりを探して僕は生物学者になった	長沼毅	“科学界のインディ・ジョーンズ”が、体当たりで辺境を駆け巡る！「生命とはなんだろうか」という問いを追い求めて旅をしてきた長沼毅が、その軌跡を紹介する。
人生はワンモアチャンス！	水野敬也	飼い主や仲間にも忠実で、きりっとりりしく、けれどときに少しだけ抜けている、かわいい犬たち。写真にそえられた思わず笑えるキャッチコピーに、元気と勇気もらえる本。
日本の色のルーツを探して	城一夫	日本古来の神々の色、雅な平安の色、粋な大江戸の色彩から昭和の流行色まで、日本人の色彩感覚のルーツを探る。
日本語を味わう名詩入門 1～4、11～20		すぐれた詩を味わい、理解を深める、名詩入門シリーズ。
こども君主論	斎藤孝	ベストセラーシリーズ第3弾！これからの人生で本当に役に立つ『君主論』を子ども向けにわかりやすく訳した書。社会を生きる上で必要なことがたくさん書かれています。
I型自分の説明書	JamaisJamais	大ベストセラー、血液型シリーズの完結編。本当の自分をつきとめよう！
ピーカーくんとそのなかまたち	うえたに夫婦	誰もが一度は見たことのあるおなじみの器具から、特定の実験でしかお目にかかれないマニアックな器具までがキャラクターになって紹介されている。
えほん空襲 1945年7月高松	杉村智子	1359人が亡くなった昭和20年7月4日の高松空襲。被災した市民9人の手記を掲載し、「えほん」というかたちで戦争の悲惨さを語りつごうとした書。
絵本江戸のまち	太田大輔	江戸の町の風景と、そこに暮らす人々の様子を綿密な絵で紹介する、江戸絵本の決定版！人々が表情豊かにいきいきと描かれているので、江戸の町を訪ねたような気分になれる。
あるかしら書店	ヨシタケシンスケ	ちょっとへんな本ってあるかしら？『りんごかもしれない』の絵本作家、ヨシタケシンスケが描く妄想書店、本日開店！



応仁の乱	呉座勇一	はなとゆめ	冲方丁
まんが人体の不思議	茨木保	天国までの百マイル	浅田次郎
ドラえもん社会ワールド	藤子・F・不二雄	空棺の烏	阿部智里
ドラえもん科学ワールド	//	超高速！参勤交代	土橋章宏
ひかりの魔女	山本甲士	超高速！参勤交代リターンズ	//
ゼツメツ少年	重松清	海の家のはたはた	矢崎在美
本能寺の変431年目の真実	明智憲三郎	エースナンバー	須賀しのぶ
僕と先生	坂木司	キリン	山田悠介
さくら聖・咲く	畠中恵	Aコース	//
花戦さ	鬼塚忠	Fコース	//
出口のない海	横山秀夫	天使が怪獣になる前に	//
真夜中のパン屋さん6	大沼紀子	走れ！T校バスケット部7	松崎洋
僕は小説が書けない	中村航		



